

オハイオ州 フィンドレー大学 奨学生レポート 2月

「日本人学校」

春学期も残すところ半分となってしまいました。今回は、春学期より二週間に一度、代行という形ではありますが、教員として授業を行っている、トリド日本人補習校について紹介したいと思います。

トリドとは、私がいるフィンドレー市から車で45分ほどの所にある市です。フィンドレー市やトリド市には日系企業が多くあるため、そこで働かされている方々のお子さんが、このトリド日本人補習校に通っています。この学校では、毎週土曜日、日本で使われている教科書を使い、国語と算数を中心に授業が行われています。この学校には、彼らが日本に帰った時に、日本の学校生活になじめるようにという目的があります。そのため、学校内のルールは日本の学校のルールに沿って決められています。例えば、授業の始まりと終わりには、きちんと号令をかけて挨拶をすることや、校内ではお菓子を食べてはいけないというようなことです。このようなことは、日本の学校では当たり前のことですが、アメリカの学校では普通ではないため、子どもたちは、この日本人学校で学びます。彼らは、毎週月曜日から金曜日までの現地校での勉強に加えて、毎週土曜日の補習校での勉強があるので、かなり大変だとは思いますが、日本人の友達と日本語で話し、学び、遊べる機会ということもあり、ストレス発散の良い機会にもなっているようです。このトリド日本人補習校は、小規模の補習校ですが、保護者の方々の御協力のもと成り立っている学校です。また、日本の文化的な行事を子どもたちが経験出来るよう、教員と保護者が協力し、餅つき大会や節分の豆まきなどの行事が行われています。日本にいと、街の装飾から季節の行事を感じる事が出来ますが、アメリカで生活していると、自然には難しいので、意識的に、そして積極的に行わなければならないのだと思いました。